

「ふるさとの学び特別賞」

学校名	小浜市立口名田小学校	校長名	細野 聖子
住 所	9 1 7 - 0 0 3 6 福井県小浜市中井 4 3 の 1 5		

1. 推薦理由	
<p>本校では、生活科・総合的な学習の時間を中心にカリキュラム・マネジメントを組み、探究のプロセスを意識した学習活動を展開している。ふるさと学習では、体験活動・小さな地域貢献・情報発信を通して、ふるさとを愛する子の育成と地域の一員としての自覚の向上に努めてきた。低学年で豊かな校区の自然を知ることからふるさと学習をスタートし、中学年では口名田地区の魅力と課題、高学年では小浜市や福井県の魅力と課題に向き合いながら、スパイラルに理解を深めている。学校行事でも、毎年、全校で「南川」での川遊び安全教室を実施している。この取組が確実に実を結んでいると実感していることから、本賞に高学年の活動の取組を推薦したい。</p>	
2. 活動内容 伝えよう「ふるさと口名田・小浜の魅力」	
<p>①5年生児童11名は、水質検査、生き物調査、投網と鮎焼き・実食体験、ゴミ調査などを実施し、ふるさとを愛する気持ちを高めてきた。ふるさと福井CMコンテストでは奨励賞を受賞し、その取組は海洋教育指導資料にも紹介されている。今年度は「ふくいサーモン」を探究学習の核に据えた。出前授業で基礎知識を学び、その美味しさを味わうために、一般的に市販されているトラウトサーモンとの食べ比べを行った。そこで「ふくいサーモン」の魅力を深く感じた児童は、より深く学び魅力を伝えたいということになった。「ふくいサーモン」の養殖に取り組んでいる漁業者や水産業者の方々から、具体的な取組と今後の展開について学んだ後、「道の駅若狭おばま」や「若狭フィッシャーマンズ・ワーフ」でのPR活動を行った。小浜からスタートしたふくいサーモンの学習は進むにつれて、福井県全体で取り組んでいることを知り、小浜市役所里山里海課や福井県農林水産部水産課の協力を得て、学びのフィールドを県全体へと広げている。</p> <p>②6年生児童19名は、昨年度まで学習してきた口名田地区（口名田米・南川・大黒山）から学びを広げ、「小浜よっぱらいサバ」に関心を持って探究学習を始めた。田鳥漁港でエサやり体験や漁業者から話を聞くことを通して「こんなにおいしいサバを小浜市外の人にも知って食べてもらいたい。」と感じるようになった。出前授業からは、小浜は昔から鯖がおいしい町として知られていたが、近年鯖の量が減少している実態を学んだ。これらのことから「よっぱらいサバで小浜を活性化させたい。」と思い、小浜の魅力が詰まったオリジナルパンフレットを作成した。修学旅行では、それを使ったPR活動を行い、県外の多数の方から「小浜市に来てみたい!」、「よっぱらいサバを食べてみたい!」等の好反応を得たことから、魅力を発信することが活性化につながるようになった。今後は、栄養教諭や食生活改善推進員のアドバイスを受けながら、鯖・谷田部ネギ・口名田米を食材にしたコラボメニューを考え、1月の給食で提供できるよう計画を立てている。</p> <p>③どちらの学年も、1月開催の学校行事「学習発表会」では校区の地域の方や保護者に、2月開催の「福井ふるさと教育フェスタ」では県全体に向けて学習内容を発信する予定をしている。</p>	
3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）	
①5年生	②6年生
5月 「水育」オンライン出前授業(サントリー)	5月 雲龍丸乗船体験
6月 出前授業「ふくいサーモンとは」	5月 よっぱらいサバのエサやり体験学習
6月 サーモンの食べ比べ	6月 よっぱらいサバの実食
9月 小浜市宇久での生け簀見学	6月 中学生から探究学習について学ぶ①、12月に②
10月 出前授業「ふくいサーモンの現状」	9月 出前授業「鯖復活プロジェクト」
11月 道の駅等でのPR活動	10月 修学旅行でのPR活動
12月 小浜市宇久での馴致の見学	11月 ふるさと仕事塾「海産物株式会社」見学
12月 ふるさと福井の魅力プレゼン大会での発信	12月 鯖・谷田部ネギ・口名田米のコラボメニュー作り
1月 口名田小学習発表会での発信	1月 口名田小学習発表会での発信
2月 福井ふるさと教育フェスタで発信	2月 福井ふるさと教育フェスタで発信
4. 提出書類リスト	
<p>1 研究論文 2021(海洋教育指導資料) 2 広報誌 2021(広報おばま) 3 賞状 2021(CMコンテスト、プレゼン大会) 4 新聞 2021(福井新聞社) 5 広報誌 2022(広報おばま) 6 写真 2022(学びの様子) 7 児童作成パンフレット 2022 8 賞状 2022(プレゼン大会) 9 新聞 2022(福井新聞社)</p>	